

はまなか暮らし、
始めます。



北海道浜中町
移住ガイドブック

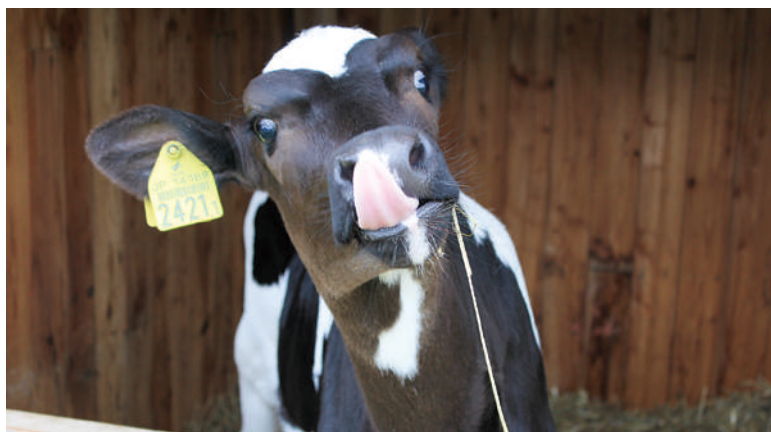
浜中町はこんなところ

農業

浜中町の農業は、生乳を生産する酪農業を主体としており、自然環境に配慮した足腰の強い酪農を目指し、食糧の生産・供給基地としての役割と自然との共生を図りながら豊かな酪農郷を目指しています。また、ハーゲンダッツアイスクリームの原料としても使われるなど、高品質乳として広く出荷されています。近年は酪農経営の大規模化が進む一方、後継者不足による離農問題が深刻となっており、(有)浜中町就農者研修牧場による研修事業や新規就農者誘致事業を中心とした、新規就農者確保に向けた取組みを実施しています。

就業人口 691 人 (R2 国勢調査)

浜中町農業協同組合 ☎ 0153 - 65 - 2121



漁業

浜中町の漁業は昆布漁を中心とする沿岸漁業とサケ・マス漁など沖合漁業を中心としています。特に太宗漁業である昆布漁は、全国でも有数の天然昆布の生産量を誇っており、町内での加工はもちろんのこと、広く関西方面に出荷されています。恵まれた沿岸の自然条件を活かしながら、うにやカキ、アサリなどの増養殖業を推進し、獲る漁業だけでなく育てる漁業にも積極的に取組み、特に昆布を餌とする養殖うには品質・味とも一級品の評価をいただいています。

就業人口 1,125 人 (R2 国勢調査)

浜中漁業協同組合 ☎ 0153 - 62 - 2121

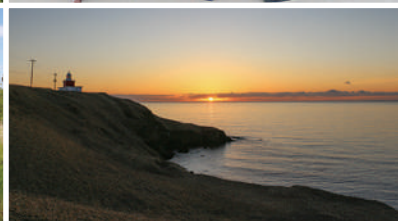
散布漁業協同組合 ☎ 0153 - 67 - 2111



観光業

浜中町では風光明媚な自然景観や四季折々の味覚など、本町ならではの観光素材を活用し、地域の特性を生かした観光振興を図っています。本町はルパン三世の原作者でもあるモンキー・パンチ氏のふるさとでもあり、ルパン三世を活用した観光振興にも取り組んでいます。

浜中町商工会 ☎ 0153 - 62 - 2144



霧多布湿原

霧多布湿原は、3168haの面積を誇る国内有数の湿原です。湿原の中心部の泥炭で形成された高層湿原部分 803ha は国の天然記念物「霧多布泥炭形成植物群落」に指定されています。また 1993 年 6 月 10 日にラムサール条約登録湿地にも登録され、2001 年には北海道遺産に指定されています。さらに、2021 年 3 月 30 日には厚岸霧多布昆布森国定公園に指定されました。

浜中町をはじめ、地域や認定 NPO 法人霧多布湿原ナショナルトラストにより、湿原保全活動が活発に行われています。



酪農展望台

国道 44 号線沿いにある酪農展望台は浜中町の美しく広がる緑の牧場風景が見渡すことができ、「酪農王国はまなか」にふさわしい大地を一望することが出来ます。

浜中秋ど真ん中祭り

(浜中産業祭実行委員会主催)

町内の農協、漁協、商工会の各青年部が連携して行うお祭りで、秋の味覚を堪能できるだけでなく、牧草ロール転がしや牛乳の早飲み、牡蠣のつかみ取りなどを組み合わせた障害物競走など、浜中の産業素材を活かした催しが行われます。



霧多布神社例大祭

(霧多布神社氏子会主催)

各地域自慢のみこしや山車が街を練り歩き、祭り囃子が響きわたります。山車の競演、ぶつかり合いはものすごい迫力で、沿道から歓声が沸き起こります。浜中町で最も歴史のあるお祭りです。

浜中町のデータ

2023 年 8 月末現在

(人口) 5,352 人 (男 2,626 人 / 女 2,726 人)

(世帯数) 2,503 世帯

浜中町の気候

浜中町の施設

(常設保育所) 霧多布保育所・茶内保育所

(へき地保育所) 浜中保育所・散布保育所・姉別保育所

(小学校) 霧多布小学校・浜中小学校・茶内小学校・散布小学校

(中学校) 霧多布中学校・浜中中学校・茶内中学校・散布中学校

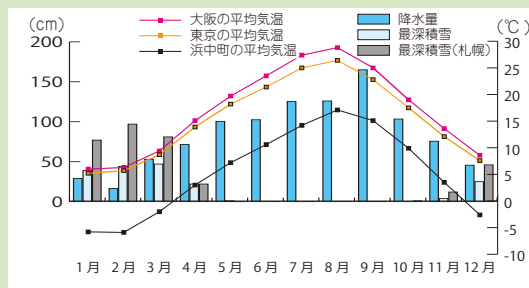
(高等学校) 霧多布高等学校 (町立)

※霧多布高校は町立高校であるメリットを最大限に活かし、高校 3 ヶ年を見通した地域研究や郷土の自然を学ぶ「浜中学」を中心に、郷土の人材や素材を活用した教育活動の推進と国内産業視察研修生派遣事業・国内環境視察研修生徒派遣事業・海外交流派遣事業を展開しています。浜中を知り浜中を調べ、浜中を広め、自分の力を生かせるような人材の育成に取り組んでおり、地域から愛されています。

(医療施設) 浜中診療所、浜中歯科診療所、茶内歯科診療所

(福祉施設) 特別養護老人ホームハイツ・野いちご (デイサービス・ショートステイ受入有)、
なごみ浜中グループホーム、居宅介護事業所えぞふうろ

(社会体育施設) 総合体育館・町民温水プール (使用料無料)



移住へのステップ

1 移住する目的をハッキリさせる

浜中町で何がしたいのか、何ができそうか想像してみましょう。

「自然に囲まれて生活がしたい」「農家や漁師になりたい」「店を構えたい」など、自分がやりたいことは何か考えることが大切です。



2 自分や家族に合ったライフスタイルを考える

自分にとって大切な方へ必ず相談しましょう。

ひとくちに「移住」と言っても十人十色です。

都会に住居を残して2拠点生活をされている方もいます。また、仕事に関しては様々なものがあります。

譲れない条件を何個か決めておくの良いかもしれません。



3 家族やパートナーと相談する

家族やパートナーは移住後生活をともにする仲間になります。しっかりと話し合しましょう。



4 移住先の候補を考え 情報を集める

最近は地方自治体が移住相談窓口というのを設けていることが多いです。連絡してパンフレットなどを取り寄せてみましょう。また、「移住フェア」にも積極的に参加してみてください。たくさんの移住情報があります。



5 移住先での生活を 体験してみる

気になる地域がでてきたらその地域へ実際にいってみましょう。観光でいってみるのももちろんよいですが、移住と観光では感じるものが違います。浜中町では移住体験施設「浜中町お試し住宅エソカンソウ」があります。2週間以上3か月以内で利用が可能となっており、費用は1日1,500円となっています。

お問い合わせ先は11ページをご覧ください。



浜中町お試し住宅「エソカンソウ」

6 移住先での住まいを探す

移住した地域がみつかったら早速住まい探しです。お試し住宅の利用時に住まいのめぼしをつけるのがお勧めです。民間のアパートや入居条件はありますが、公営住宅などが最初はハードルが低くて良いかもしれません。住宅建設についてもご相談いただければ建設会社もお教えします。

7 仕事をきめる

移住後の仕事を決めるのは思っている以上にハードルが高いと思います。自分に合った仕事を探すことが大切です。浜中町は、農林水産業に商工業など様々な分野で可能性を秘めています。

8 移住を実行する

移住はゴールではありません。その後様々な困難があると思いますが最終的なゴールは「定住」することだと思います。ある程度の軌道にのるまでは生活資金も必要となりますので、よく考え実行してみましょう。



●耳より情報●

浜中町の土地の価格相場は…

家を一軒建てる 100 坪程度の土地で
100 万円から 250 万円です。

思い切ってマイホームを建てるのも
「あり」かもしれませんね。

移住者体験レポート

酪農家

吉田貴俊さん・麻耶さん（東京都出身・40代）

移住して6年目

家族構成はご夫婦と子ども3人の5人家族



浜中町に移住してみようですか？

貴俊：知人がいなかったことで新しい環境で生活することにはとても苦労しました。そんな中でも近所の方は温かく受け入れてくれて、わからないことは懇切丁寧にいろいろなことを教えてもらい、そこから他の新規就農者や農家さんとのつながりができたと思います。

麻耶：浜中町では30年前から農業協同組合の新規就農者受け入れやタカナシ乳業の工場があることによって、移住者にはとてもやさしい町だと思います。コミュニティに入るのが、もっと難しいかと思いましたが、案外すんなりと溶け込むことが出来ました。

移住のきっかけは？

貴俊：東京で忙しい生活をしていて家族との時間をもっと大切にしたいと考えていた時に、学生時代に学んだ畜産関係の仕事をしながら家族との時間を取れる場所だと思ったのがきっかけです。

麻耶：都会での何不自由なく子育てできる環境に、子どもたちの成長の妨げになるのではないかと疑問を持ち続けてきて、不自由でも物事をしっかりと考え生きてほしいと考える中で浜中町が自然がたくさんある想像力を掻き立てられる場所だと思ったからです。

移住することで、まわりの反応はどうでしたか？

貴俊：うちの両親はまだ浜中町に来てないですね。

麻耶：貴さんのお母さん泣いてたね。

貴俊：うちの親は泣いてたね。いやだいやだという感じでね。

麻耶：すごく仕事も順風満帆で活躍していたのに「何で頭おかしくなったのかい」って。今は応援してくれてるけどね。

貴俊：だからこれから浜中町に呼べばいいなって思ってます。

麻耶：私の両親は応援してくれていますね。私の両親には「タカナシ乳業の製品を絞るから浜中町なら大丈夫だよ」と説明しました。そこはうちの両親としては大きかったみたいです。タカナシ乳業の生クリームはほかのものと比べて全然別物だっというのを30年も前から私の住んでいた地域では思っていて、母のケーキのレシピにも生クリームはタカナシ乳業のものをを使うって書いてあるくらいでしたから。

冬の暮らしはどうですか？

貴俊：家の中が暖かいね。冬でもTシャツ、短パンで過ごせるし、雪で遊べるし、仕事は除雪がちょっと大変だけど、どうにもならないほどというのは今のところないね。

麻耶：雪がそんなに降らないからね。そこはすごく恵まれていると思う。きれいなダイヤモンドダストが見えたり、空を見れば星もたくさんで都会では見ることができない景色もいっぱいですね。

浜中町に来てからの趣味はできましたか？

麻耶：私はチーズ作りですね。自分で絞った牛乳でおいしいチーズを作ろうとしています。先輩農家さん方にすごくおいしいチーズを作れる人がたくさんいるので、少しでも近づけるように試行錯誤中です。

貴俊：狩猟ですね。浜中町に来てから町の助成金を利用して免許を取ったんですけど、なかなかうまくいかないこともあるんですけど、周りの人がいろいろアドバイスをしてくれるのですごく楽しいですね。

浜中町で使った制度はありますか？

麻耶：出産祝金や18歳まで医療費の無料などの子育て支援や酪農の研修時代に過ごした牧場にも手厚いサポートが受けられてとても助かりました。

移住希望者へのメッセージをお願いします。

貴俊・麻耶：自然と空気のおいしい場所で家族との時間を大切にしながら生活できる場所なので、ぜひ一度浜中町まで来て下さい。

移住者体験レポート

地域おこし協力隊

内田 愛実さん(30代)神奈川県出身 自然環境プロデューサーとして活動中。(2年目)

地域おこし協力隊 OB

小山勇太郎さん(30代)東京都出身

浜中町への移住のきっかけは？

内田：SNSで隊員(自然環境プロデューサー)募集の投稿を目にする機会がありました。以前、北海道に住んでいたことと自然関係のことで町を盛り上げようというものだったので応募に至りました。

小山：東京でフィットネス関係の仕事をしている中で、一次産業に従事したいという漠然とした気持ちから東京都で行われた農業イベントに参加した際に浜中町農協の職員に声を掛けられ、酪農体験をする中で隊員をしているということを聞いたので応募しました。

協力隊の生活は？

内田：町民の方と話したり、町内外の地域おこし協力隊を訪ねてみたり見識を広げるように日々生活しています。

小山：浜中町は住みやすいと感じます。夏は冷涼でエアコンを使う日は少ないです。冬には雪は降りますが、自分で除雪しないといけないような日は一年間に何回かでそこまで大変には思ったことはないですね。

一般職じゃなくてなぜ協力隊に？

小山：一番はすごく自由だと思っていたのが大きいです。大きい目的に対してどういう形でアプローチしていくかというのは自由なので、いろんなアイデアを考え出し、挑戦できる環境の中で自分自身が成長できると思ったので一般の仕事ではなく協力隊になろうと決めました。

休日の過ごし方は？

内田：浜中町を知るため、浜中町総合文化センターにある図書室を利用したり、人と会って話を聞いたりしています。たくさん情報収集をして活動に活かしていければと思っています。

小山：浜中町には総合体育館やグラウンド、町民プールなどの体育施設があります。そのほとんどの施設が無料で利用できるので、スポーツを通して町民との交流を深めたりしました。

浜中町の魅力は？

小山：食べ物がおいしいところですね。霧多布湿原を中心に海に行けば昆布や養殖うに、カキなどがあり、酪農地域に行けば有名ブランドのアイスクリームにもなっている高品質な生乳が搾れます。その生産する様子をすごく身近に感じることができるところが魅力的だと思います。

移住者へのメッセージ

内田：浜中町には豊かな自然とその自然を利用した乗馬体験や体験型アクティビティが豊富にあり、また一次産業の町で海では漁師さんが内陸では酪農家さんなど、その素材を利用したおいしい食べ物があるので、興味のある方は一度浜中町に足を運んでみてください。

小山：隣の家までの距離は遠いですが、町民同士の心の距離は近い町で、町外からくる方にもやさしく声をかけてくれます。いろいろと世話を焼いてくれる町民も多くいますので、興味のある方はお試して浜中町にいらしてください。

地域おこし協力隊
フェイスブックページ



移住者体験レポート

子育て世代のお母さんたちに集ってもらい、
座談会形式でお話を伺いました。



浜中町はどんな町ですか？どんな印象ですか？

堀内：たくさんの自然がある町ですね。私は霧がかかることが好きですね。霧がかかる感じがロンドンの街並みを連想させてくれます。私の思うアピールポイントだと思います。

金谷：落ち着く町です。私は何度か町内から出てお仕事をしていた事もありますけど、帰ってきた時にはすごくそれを感じますね。

石原：私は出身が千葉で帰省をすると人混みに疲れてしまいますけど、浜中町では人混みが少ないので疲れることもないですね。

國井：子育て世代（未就学児）はいいと思います。やっぱりこのフィールドで近くにラッコが見える海、鹿や狐、丹頂鶴がいる霧多布湿原、牛が放牧されている酪農地域の広大な自然を日常的に感じながら子育てできるからです。

佐々木：町民同士の距離感がすごく近いと思います。牛乳や海の幸をもらうことも多いですね。

白戸：霧多布湿原を中心にたくさんの自然という観光資源がたくさんある町ですね。どこに行っても素晴らしい景色が広がりますから。

原田：町内で子育ての情報が増えているのはいいですね。少しでも選択肢が増えることは子育てがしやすくなりますもんね。



近くに相談できる人はいますか？

白戸：私は友達もいるけど子どもを預かってもらうというところまでは頼れない。友達には友達の生活があるので…。三世代で住んでいれば身内だからまだ親に頼みやすい。本当に切羽詰まった時に話を聞いてもらうくらいしかできないし、さすがにお隣のおうちの状況を分かっていると気が引けるかな。

國井：私はご近所さんが圧倒的に他の自治体より優しくお向かいさんはみんな知っています。誰が引っかけたかわからないキュウリが玄関のドアノブにぶら下げてあったりしますね。こういうことはこの町の強みの一つだと思います。同世代の繋がりだけではなくて違う世代と自由に交流できることで「最近元気していたかい？」とか「子どもは大事無いかい？」とかいろいろ話してくれるのは母親に教わりながら子育てをしたかった私にとってすごくいい環境。緊急時に子どもを預かるという都会ではタブー視されていることも受けてくれるのでありがたいです。

浜中町の便利な制度や公共施設については？

小山：24時間、緊急の医療相談を受けてくれたり、救急病院とかも教えてくれる「浜中町医療相談ダイヤル24」っていうサービスがあるんですけど、皆さん使ったことがありますか？

國井：何回か電話したことがありますよ。ちゃんと答えてくれますよね。

佐々木：混雑していたり、夜間かけると、看護師さんが用件だけ聞いて「すみません、折り返し掛けます」って一度電話を切られるけどその後5分くらいで折り返しの電話がかかってきます。安心ですね。

國井：浜中町って公共施設をほとんどタダで使えるのがいい所ですね。主人が学校の部活で演奏会をしようと思ってある町に聞いたら1日で12万円かかるって言われたそうです。浜中町はタダも同然の値段で貸してくれますよね。案として、指導者とか人材の交通費を負担していただければ、習い事をやりやすいんじゃないかと思います。

小山：交通費の補助ではないのですが、「いきいき暮らし塾」という制度がありますので、そちらを活用してもらえればと思います。

堀内菜里佳さん／東京都出身。夫と子ども2人の4人家族。
金谷 里沙さん／浜中町出身。黒毛和牛農家を営む夫と子ども3人の5人家族。
石原 照美さん／千葉県出身。夫と子ども4人の6人家族。
和田真由美さん／神奈川県出身。夫と子ども2人の4人家族。
佐々木麻衣さん／北海道帯広市出身。夫と子ども2人の4人家族。
國井 葵さん／北海道石狩市出身。夫と子ども2人の4人家族。
白戸 優子さん／札幌市出身。夫と子ども2人の4人家族。
原田真理子さん／神奈川県出身。夫と子ども3人の5人家族。
小山勇太郎さん／東京都出身。

子育てサークルを作られたと聞いたのですが…

金谷：浜中町で子育てサークルはあまりなくて、あっても個人的に集まっているだけ。今は解散してしまったんですが、以前は「ループ」というサークルがあって、作ってくれる人は凄いなって思いました。

石原：以前は役場の福祉保健課主催の「げんきっず」という「保健師さんや栄養士さんが子どもたちの身体測定や栄養指導をしてくれる集まり」があって、待っている間に子どもたちが自由に遊べる場だったんです。子どもが小さいときは毎回行ってたんですが、突然なくなってしまって。そこから子育てサークル「ループ」を立ち上げました。当時立ち上げたのは、移住者の集まりだったからガツガツいけたような気がします。

●耳より情報●

「いきいき暮らし塾」とは…

新しくサークルや習い事を始める5人以上のグループを対象に、1年間講師謝金を助成してもらえる制度。この制度を活用した幼児体操教室が活動中です。

子育てのネットワークがあると聞いたんですが？

石原：今は解散に至ったんですけど、以前あったサークル「ループ」の公式でも何でもないライングループ「浜中子育て掲示板」が今も活用されています。近隣市町村の子どもが関わるイベントとかサークル情報を気になった人が載せるという感じ。何か情報としてあるだけでもママの気分転換にもなるし子どもの出会いが増えるかなって思う。

和田：家の中で家族だけで過ごすよりは、外に出ていろんな人と接したほうが楽しいし親も気分転換になるよね。

堀内：輪が広がって、今そのライングループは100人もいますからね。

石原：ただ、このライングループは調べても出てこないし、誰かが誘わないとわからない。公式のアプリとかがあるといいんですけどね。

堀内：この掲示板がなければ、どこで集まればいいのかもわからないし、町を歩いていて誰かに会って話さないと今回みたいに集まって話を聞いてもらえるきっかけとかさえもない。

金谷：公園にすら行かないで、普段旦那にしか会わない人もいるしね。

堀内：こうやって人とかがわかるのが苦手な人もいるよね。
お母さん方：「子育て掲示板」があることですごく助かりました。

(次ページへ続く)



移住者体験レポート

子育て世代のお母さんたちに集ってもらい、
座談会形式でお話を伺いました。

(前ページからの続き)

ご近所トラブルとかはありませんか？

堀内：子どもの騒音問題とかないですね。

國井：騒音問題とか全く言われないですね。

堀内：部屋の壁が薄いとか足音がうるさいとかはないですね。

小山：やっぱり、都会では騒音のクレームは多いですか？

堀内：向こうでは当たり前のことですけど、ここでは感じたことがないですね。マンションとかの集合住宅であればもっと日常的にありますね。

堀内：大きい声を出しても全力で鬼ごっこをしても苦情を言われることなく、のびのびと遊ぶことができるのは子どもの成長にとってすごくいいと思いますね。

國井：都会だと公共交通機関が発達しているから時間に追われたり、他人の目を気にして子どもを大きい声で怒ったりということがありますが、浜中町ではしなくなりましたね。移動手段が基本的に車なのであまり他人の目は気にしなくていいんですよ。それと近所の人も子どもにやさしくて、子どもを可愛がってくれる方が多いと思いますね。

佐々木：茶内に広い公園があるのはとてもうれしいですね。子どもが思い切り、走り回って楽しんでいますから。

田舎での子育て環境はどうですか？

石原：都会と地方でメリットとデメリットはあると思います。都会に行った友達に話を聞くと、浜中町の方が子育てはしやすいって言っていますね。都会には習い事が近くにたくさんあるけど、自由が利かないこともあるって言っていました。例えば都会では電車移動での不便を感じますが、浜中町では車移動なので気にならないですね。

國井：町の制度で高校給食が出ること、18歳までの医療費無料はとても充実していますね。総合文化センターや体育館、グラウンド、温水プールなど、町の施設を無料で使えるというのは他の自治体だとあまり聞いたことがないです。

●耳より情報●

浜中町やその周辺地域は自家用車が生活に欠かせません。

冬道の運転は慣れてしまえば気になりません。



もっと「こうしてほしい」ってことありますか？

堀内：コミュニティが狭いので最初は人と人との関係も作りやすくていいとは思いますが、子どもが大きくなるにつれやっぱり地方は限界があるかなって思います。

石原：私の息子が今小学3年生でスポーツを頑張っているけど、人口が少ないからやりたい種目のチームが組めなくて隣町まで行ったりしてますね。

國井：私の主人は茶内中学校の教員なんですけど「部活が3つしかない」そうなんです。野球部は今は町内で連合が組めなくて、隣町の学校と組むそうです。練習は隣町までの送迎が必要になるので、それであきらめている人もいますね。それで近場でできる個人種目の卓球や、陸上、アイススケートが盛んになっていますね。

堀内：子供がやりたいことを好きにやらせてあげられる環境とか、地方にいても満足できる環境が欲しいですね。

移住を考えている方へメッセージをお願いします。

國井：新しいことをやりたい人にはすごくいいところだと思います。都会では同業者がいるとなかなかやれないかもしれないけど、かばっていなければやりやすいと思うので、そういう方はぜひ来てください。

石原：都会ではできない自由な働き方がしたい人や子育てをするお母さん、これから子どもが欲しいと考えられている方にはとてもいい町だと思います。お待ちしております。

堀内：興味のある方は、お待ちしておりますので、一度足を運んでください。

働く、住む、育てる。

働く

○浜中町の牛乳は高品質！！
酪農の仕事がしてみたい！

浜中町研修牧場制度

新規就農を目指す方の研修受け入れ

◆浜中町農業協同組合 営農課◆

北海道厚岸郡浜中町茶内栄 5 番地

☎ 0153-65-2141



○天然昆布の生産は日本トップクラス！！
漁業の仕事がしてみたい！

◆浜中漁業協同組合◆

北海道厚岸郡浜中町霧多布東 1 条

2 丁目 21 番地

☎ 0153-62-2121



◆散布漁業協同組合◆

北海道厚岸郡浜中町火散布 188 番地

☎ 0153-67-2111

メール：gyokyou@jf-chirippu.jp



○雄大な自然の中で起業したい！！
商工業の仕事がしてみたい！

◆浜中町商工会◆

北海道厚岸郡浜中町霧多布東 3 条 1 丁目 13 番地

☎ 0153-62-2144



○UIJ ターン新規就業支援事業

・条件に該当する就業を行った場合最大 100 万円支給

相談窓口

◆浜中町役場 企画財政課 企画調整係◆

北海道厚岸郡浜中町湯沸 445 番地

☎ 0153-62-2237

◆浜中町地域おこし協力隊◆

北海道厚岸郡浜中町湯沸 445 番地

☎ 0153-62-2237

住む

お試し住宅事業

・ 2 週間～3 カ月の間、浜中町で移住体験
ができます



安心住まいの促進事業

・ 住宅の新築および住宅リフォームを行う方へ
費用の一部を助成します

結婚祝金事業

・ 結婚した町民の方へ 5 万円相当の町内で使える
金券を配布します

出産・子育て

出産祝金事業

・ 新生児へ 5 万円相当の町内で使える金券を
配布します

妊産婦健康診査助成事業

・ 妊産婦の方が受診する健康診査の検診料金を
一部助成します

妊産婦健康診査等通院支援事業

・ 妊産婦健康診査等の通院交通費を 3 万円助成します

一般不妊治療費助成事業

・ 一般不妊治療を受けている方に 1 年度 5 万円、
3 年間助成します

子ども医療費助成事業

・ 高校生世代までの医療費が完全無料です

子どものインフルエンザ予防接種費助成

・ 高校生世代までのインフルエンザ予防接種費を
一部助成します

奨学金制度

・ 高校、高等専門学校、専門学校、短期大学、大学に
進学を希望する学生へ奨学金を給付します



移住相談窓口

浜中町企画財政課企画調整係

北海道厚岸郡浜中町湯沸 445 番地

☎ 0153 - 62 - 2237

<https://www.townhamanaka.jp>

